

2014年3月期 第2四半期決算説明会における質疑応答

開催概要

【日 時】2013年11月14日(木)13:30~14:20
【場 所】株式会社ゼンリン 東京本社(ワテラスタワー12階)
【出席者】代表取締役社長 高山善司
代表取締役副社長 綱田純也
執行役員コーポレート本部長 松尾正実

質疑応答概要

以下は、質疑応答の概要をまとめたものです。

Q1: 企業の収益構造について伺いたい。

現状の販売のモデルに変化が生じており、収益構造を見直す必要があるが、例えば、会員制等のストック型のビジネスモデルについて今後どのように考えているのか。

A1: これまでの住宅地図帳のように売り切り型のビジネスモデルだけではなく、クラウド上で住宅地図データベースをご利用いただける課金制のストック型のビジネスモデルを進めるために新商品の開発に注力しているところです。また、お客様が必要な時、必要な範囲だけ、最新の住宅地図データベースをプリントメディア(紙)でも、データベースでもご利用いただける環境を構築中です。
今後も継続的、安定的に収益を確保するストック型のビジネスモデルを展開していきます。

Q2: 高齢化社会に向けた個人の危機管理や、趣味のウォーキングなど、有料でも個人が地図情報を身近に利用したいと思うような、安価なサービス、ストック型ビジネスモデルを形成できないか。

A2: 必要な情報だけを、適正な金額で提供するプラットフォームを構築して行きたいと考えています。
高齢者やお体が不自由な方にとっても、購入しやすい方法・価格で提供できる、価値ある用途開発、商品開発を進めて行きたいと考えています。

以上